

フロンティア事業助成 実績報告

団体名	You a Family Club 障害者・児 家庭自立支援	代表者名	野坂 鈴子
事業名	障害のある子ども達の社会性の獲得 *実体験を通してのコミュニケーション・スキルアップ体験事業PART 2		

事業実施実績

年 月 日	活 動 内 容
《ソーシャルスキル・トレーニング》	
平成23年 4月24日	ソーシャルスキル・トレーニング① 「自己紹介をしよう」「どんな風船？」
5月22日	ソーシャルスキル・トレーニング② 「ストローゲーム」「音楽遊び」
6月19日	ソーシャルスキル・トレーニング③ 「大縄跳び」
7月24日	ソーシャルスキル・トレーニング④ 「スローモーションゲーム」
8月21日	ソーシャルスキル・トレーニング⑤ 「夏休みお楽しみ会の司会・進行をしよう」
9月10日	ソーシャルスキル・トレーニング⑥ 「何ができるかな？」
10月23日	ソーシャルスキル・トレーニング⑦ 「石蹴りをしよう」
11月27日	ソーシャルスキル・トレーニング⑧ 「落ちないで！」
12月18日	ソーシャルスキル・トレーニング⑨ 「クリスマス会の司会・進行をしよう」
平成24年 1月22日	ソーシャルスキル・トレーニング⑩ 「福笑いをしよう」
2月26日	ソーシャルスキル・トレーニング⑪ 「新しい自分を作ろう」
3月25日	ソーシャルスキル・トレーニング⑫ 「一年間を振り返り、自分の気持ちや意見を言おう」
《ペアレント・トレーニング・保護者対象》	
平成23年 4月16日	オリエンテーション、セッション1、子どもが言うことを聞かないときは？
5月14日	セッション2、上手な褒め方の練習
5月21日	セッション3、肯定的な注目を与える
7月30日	セッション4、子どもの行動を3種類に整理する
9月17日	セッション5、褒めることを見つけよう
10月15日	セッション6、無視、褒めるために待つ
11月12日	セッション7、人の時間を持とう（スペシャルタイム）
12月10日	セッション8、好ましくない行動を減らす
平成24年 1月14日	セッション9、上手な指示と制限（罰）の与え方
2月18日	セッション10、まとめ、質疑応答、フォローアップ

効果と成果

ソーシャルスキル・トレーニングを行い、子どもたちの社会性の構築を試みた。1年間の結果を客観的に測定するために、「S-M社会生活能力検査」（日本文化科学社）を指導前と指導後に実施し、「身辺自立」「意志交換」「集団参加」「自己統制」の4項目について、それぞれの社会生活年齢（才：月）を算出し比較した。その結果、集団参加の仕方を理解、自己統制力が向上、コミュニケーション能力の向上、友だちが増加するなど、目覚ましい成長が見られた。そして何よりも自己肯定感を向上させ、自分自身に自信を持ち表情が明るく変化した。この結果により、遅くとも学童期までに適切な援助を受け、対人関係の構築や社会的なルール習得のために、段階を追った長期的な支援を受けることが望ましいといえる。

収支決算書

(収 入)

項 目	金額 (円)
フロンティア事業助成金	1,000,000
参加費	140,000
自己負担金	35,487
合 計	1,175,487

(支 出)

区分	項 目	金額 (円)	左のうち助成対象金額
直 接 経 費	講師謝金	216,000	216,000
	講師交通費	24,720	24,720
	指導者謝金	360,000	360,000
	指導者交通費	186,240	186,240
	会場費	26,400	26,400
	教材	44,795	44,795
	小 計	858,155	858,155
間 接 経 費 (一般管理費)	通信費	109,906	} 300,000
	印刷費	125,925	
	消耗品費	81,501	
	小 計	317,332	300,000
合 計	1,175,487	1,158,155	